

施工例



配水池 1,600m³(八角形2槽式)



配水池 2,000m³(2槽式)



配水池 7,200m³(2槽式)

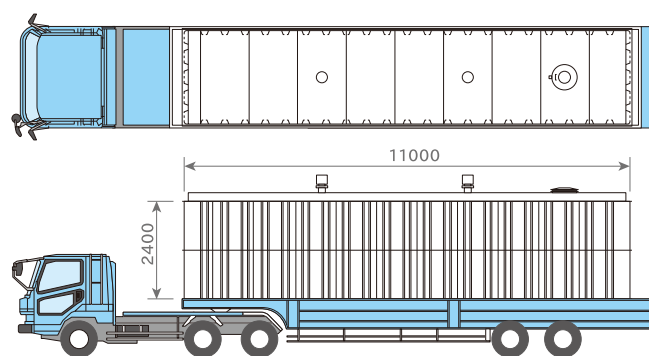


配水池 1,000m³

ステンレス鋼製 角形配水池

- 💧 抜群の耐震性
- 💧 安心・安全の水密性

可搬式の小型配水池50m³



- 現地工事不要**
工場から低床トレーラーで現地に搬入。
仮設タンクとしても利用できます。
- メンテナンスフリー**
全ステンレス製ですので、
衛生的で長期耐久性が期待できます。
- 増設が容易**
ユニットを連絡配管で接続するだけで
増設も容易にできます。



水をつくる、いかす、考える。

FUSO

FUSOの角形配水池

数多くの実績に裏付けられた抜群の耐震性能を有します。

(社)日本水道協会「水道施設耐震工法指針・解説(2009年度版)」・日本水道鋼管協会「WSP 073-2010ステンレス鋼製角形配水池設計指針」に準拠。

FUSO角波構造について 内外圧に対応できる自立式一体構造です。

側板の基本構造

側板は、ステンレス鋼板をプレス加工によって角波成型しますが、プレス加工時に板厚減少のない独自製法を採用しています。成型された側板は軽量にもかかわらず強い剛性を持ち、高い耐震性・水密性を実現します。

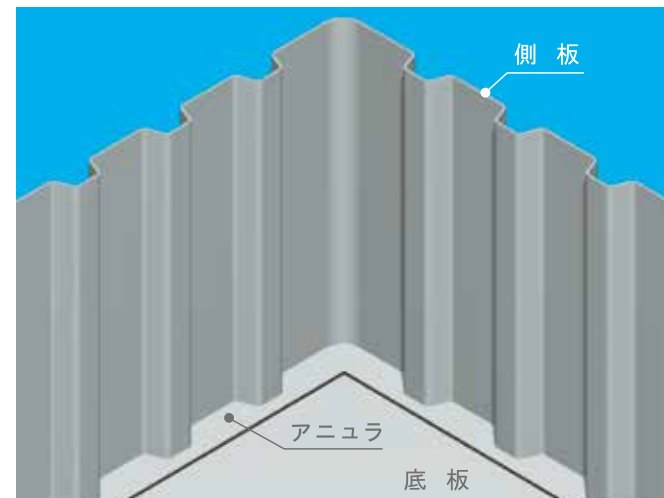
溶接構造

部材の接合には、確実に応力を伝達できる溶接継手として認められている完全溶け込みの「突き合わせ溶接」および「両面すみ肉溶接」を採用しています。この点がパネル式タンク（へり溶接※1を採用）と根本的に異なる点です。

側板とアニュラプレート※2の一体化

側板はアニュラプレートと「両面すみ肉溶接」によって接合しているため、地震時荷重を確実に基礎(地盤)に伝達し、優れた耐震性能を発揮します。

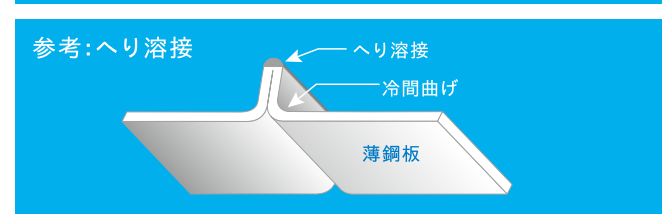
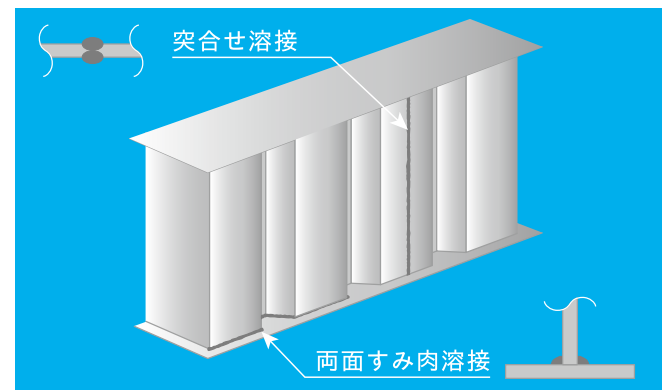
基本構造



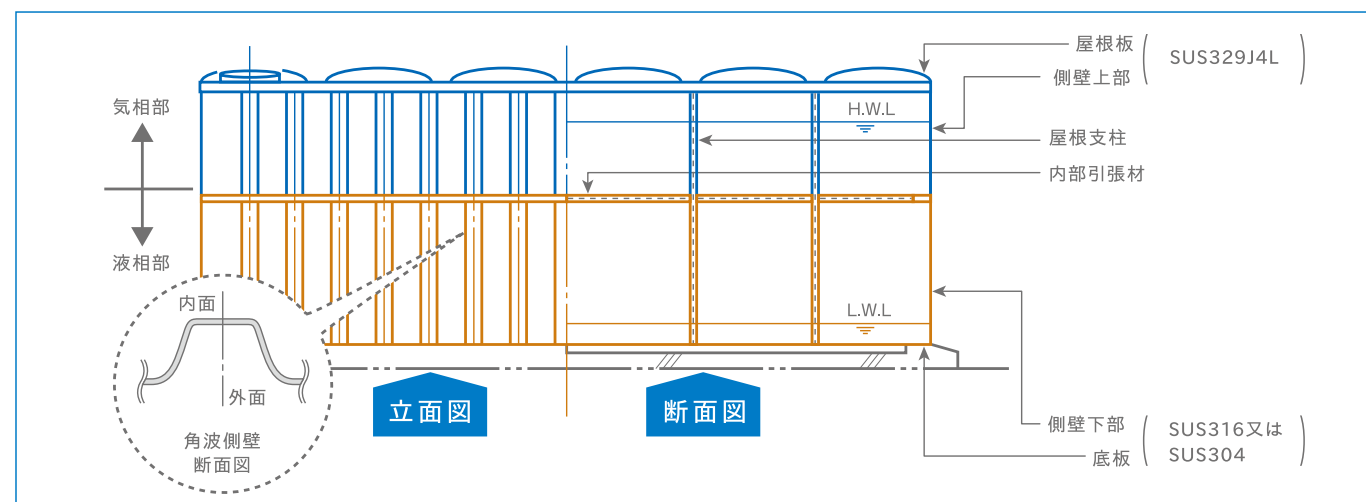
※1 へり溶接
溶接しようとする鋼板をほぼ平行に重ねた状態で端面を溶接する方法。

※2 アニュラプレート
底板外周を囲む板厚の大きい強度部材で、側板最下段部に発生する荷重に対抗する。

溶接継手の形式



材質の使い分け 配水池内部の塩素ガス雰囲気による腐食環境や設置場所の環境に応じて、最適な材質を選択します。



FUSO角波構造の特長

1

抜群の耐震性

側板に縦角波を採用。水深方向の剛性を十分に確保し、耐震性に優れた構造を実現しました。

2

安心・安全の水密性

「突き合わせ溶接」または「両面すみ肉溶接」により、確実に応力を伝達するので、漏水の心配はありません。

3

優れた耐久性

耐食性に優れたオーステナイト系および二相系ステンレス鋼を採用。腐食環境に応じて使い分けています。メンテナンスフリーで50年以上の期待耐用年数を誇ります。

4

徹底した施工管理

溶接部の品質管理は万全です。継手形式・位置に応じて、放射線透過試験、浸透探傷試験、バキュームテストを駆使。最終的には水張試験を実施して確実な水密性を担保します。

5

点検・清掃が容易

パネル式と比較して側板の剛性が高いため、底板から高さ約2m以下の範囲には内部補強材の設置が不要です。そのため、池内部の清掃や点検が容易です。

6

増設が簡単

自立式一体構造(内外圧対応)のため、事業計画に合わせた配水池の増設が容易にできます。

施工手順

